

# キリストのまなざし

2026年3月22日

マタイの福音書 26章  
マルコの福音書 14章  
ルカの福音書 22章  
ヨハネの福音書 12～13章

序：最後の晩餐 → ゲッセマネ → 捕縛 → 大祭司アンナスとカヤパによる尋問

## I. イエスからの離反

### (1) イスカリオテのユダ

12弟子のリストの最後 マル13:19  
裏切った（敵に贖30枚で売った）  
イエスの処刑決定の報に後悔  
首吊り自殺 → 谷に転落（凄惨）  
マタイ 27:3～5 骸 1:18

### (2) ペテロ

12弟子の筆頭  
弟子であることを三度否認した  
イエスのことばを思いだし号泣  
信仰回復、主の復活の証人

(3) 弟子たち全員 マタイ 26:56

## II. キリストのまなざし

### (1) イスカリオテのユダ

悪魔の子  
強欲・金入れから盗む  
香油を注いだマリアを非難  
祭司長らと裏取引  
裏切れることは承知  
過越の食事の途中で退席  
パン切れを浸して与える  
口づけを敵に渡す合図  
滅びの子（頑な、悔い改めない）

### (2) ペテロ

筆頭弟子（12人中／3人の中でも）  
単純・一途・熱心・愛（欠点はあるが）  
弟子たちを代表しての信仰告白  
イエスに対する献身、過大評価  
夜明けまでに三度否認を予告  
とりなしの祈り 肋 22:31～38  
イエスの捕縛・尋問を心配して大祭司官邸の庭まで来て、否認  
立ち直って、主の僕となる

## III. 結び

(1) キリストは大祭司の官邸の中で、ペテロは官邸の庭で同時にそれぞれ尋問された  
堂々と、寡黙 恐れうるたえ、必死で弁解、嘘をつく

(2) ユダは自分の裏切りの結果に絶望し後悔したが、悔い改めなかった  
ペテロは自分の愚かさ弱さを顧みず、大言壮語したことの結果が、あろうことが  
イエスを否認（イエスの預言どおり） 非常な罪の自覚で打ちのめされた

(3) ユダは絶望して自ら命を絶ち、死体は惨状をさらした（呪われた死）

(4) ペテロは官邸から出てきたイエスのまなざしによって、どん底から立ち直って行く  
彼の最後はイエスへの信仰ゆえの殉教（光榮な死）

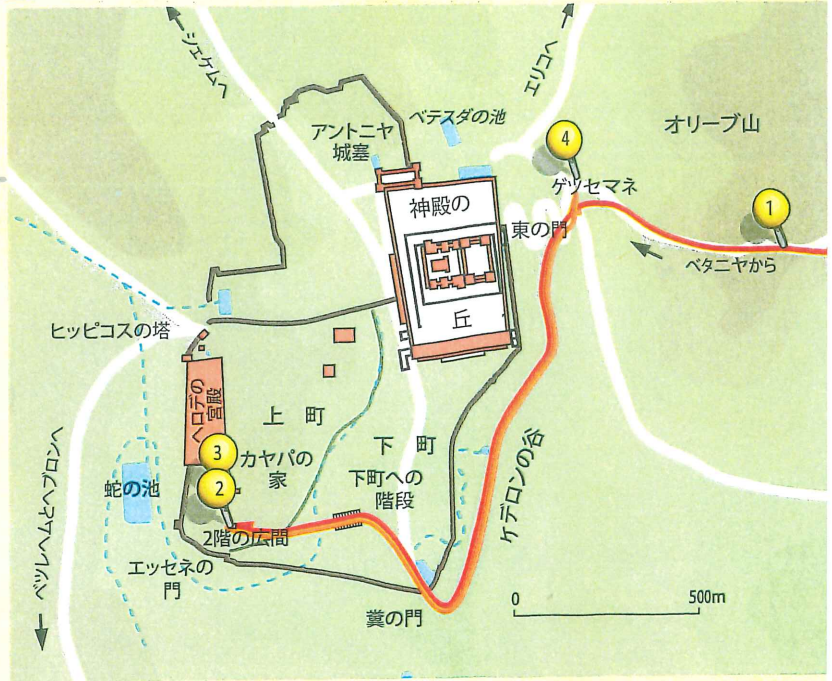
(5) キリストはペテロを責めなかった  
しかし、無言で注がれたまなざしによって、罪を示され、悔い改める者を余す所  
なく赦される主の愛の前に打ち砕かれ、新しくされていく  
ペテロの号泣は、自分の罪を悲しむだけでなく、全き赦しと主の愛の深さへの応答

(6) 私たちも日々キリストのまなざしを受けながら生活している 自分ではなく主を見  
つめ、後悔ではなく悔い改めを、敵対よりも従順をもって、主の愛に答えて行こう

## エルサレムのイエス 木曜日と金曜日

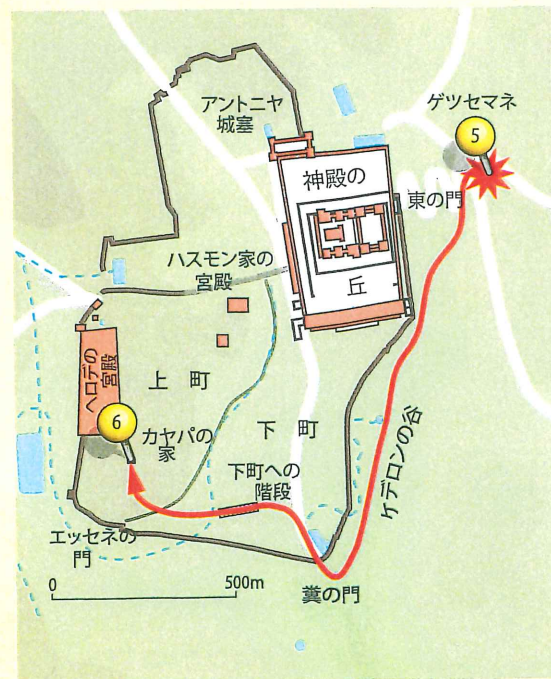
### ①木曜午後から金曜早朝まで

- ①木曜午後。イエスはベタニヤの家を出てエルサレムに向かう。
- ②食事の準備が整えられた2階の広間に行く。
- ③木曜夜。食事の途中でユダが部屋を去り、当局に通報するため、おそらく近くのカヤパの家に行く。
- ④金曜、0時から午前2時の間。イエスと弟子たちは祈るため、ゲツセマネに向かう。



### ②金曜未明から朝にかけて

- ⑤午前2時(?) イエスはゲツセマネで逮捕される。
- ⑥大祭司の家に連行され、アンナスとカヤパの前で尋問される。中庭で、ペテロがイエスを否認する。イエスはそこで一晩過す。



### ③金曜、明け方から午前9時まで

- ⑦明け方。イエスは議会の前でさばかれる。
- ⑧ヘロデ大王の宮殿にあるピラトの本部に連行される。
- ⑨ピラトはイエスをアンテパスのもとに送る。
- ⑩アンテパスはイエスをピラトに送り返し、ピラトが判決を言い渡す。
- ⑪午前9時、イエスはゴルゴタに連れて行かれ、そこで十字架につけられる。
- ⑫午後3時、イエスの体はおろされ、近くの墓に葬られる。

